

## SSH米国海外研修② 野外実習

夏休みに行われた SSH 米国海外研修。野外実習は化学分野と生物分野に分けて行われました。

### 7月20,21日：ミシガン湖&ミルウォーキー川野外実習

化学分野では、ミシガン湖と大学近くのミルウォーキー川で水温や透明度を測ったり、採取した水の pH や溶存酸素、窒素、リンの測定を行ったりしました。今年の冬に北米地域を襲った大寒波の影響でこの日の水温も 10℃と低く、生徒たちは冷たいのをこらえながら水を採取しました。採取した水は実験室に持ち帰って分析します。手賀沼の水環境とミシガン湖の水環境を比較し、水環境に対する理解を深めるのは本研修の重要なテーマの一つです。生徒たちは昨年 11 月に手賀沼でも同様の研修を行っており、そのとき学んだ内容を思い出しながら水質分析に取り組みました。

生物分野では、ミルウォーキー川で魚類と無セキツイ動物を採取しました。つま先から胸までをすっぽり覆う「胴長」は着るのも一苦労ですが、川の中でもなかなか思うように動けません。先生たちの英語の指示を聞き取りながら、慣れない網を手に様々な生物を採取しました。生物採取の後には、それらを同定するのも大切な作業です。なぜなら、どんな生物が生息しているかによって、その水環境の汚染度が推定できるからです。生徒たちは顕微鏡と生物図表を見比べたり、先生に質問したりしながら、真剣に同定を進めました。

### 7月24日：デビルズレイク州立公園

バスで大学から 2 時間半、デビルズ湖にやってきました。デビルズ湖のある一帯は氷河によって形成されたなだらかな丘陵地帯です。デビルズ湖では尾根をハイキングしながら氷河が運んだ巨大な岩を見たり、植物講義を受けたりしました。日本ではなじみのない北米地域特有の樹木が多くみられましたが、葉の特徴によって木を見分ける方法や、建材として価値の高い木、外来種の流入を防ぐためのルールなども学びました。ハイキング後は湖岸でサンドイッチを食べ、自然の中で大いにリラックスしました。

次回はコンコルディア大学での研修も終盤、薬学部実習と最終プレゼンテーションの様子をお伝えします。どうぞお楽しみに！



海？ではなくミシガン湖



網の操作はかなりの力仕事



氷河地形の見渡せる尾根より